



番組の特徴的場面

番組の特徴的場面

テレビ番組

テレビ番組

ウルルン滞在記

ご近所の底力

交流と成長

テーマ

参加者の試練

試練の克服

番組展開

司会者の役割

]

]

社会科授業

社会科授業

学力・目標

学習課題

課題の解決

学習過程

教師の役割

授業のヤマ場

授業のヤマ場

]

]

学生番号 ( ) 学部・コース ( ) 氏名 ( )

学生番号 ( ) 学部・コース ( ) 氏名 ( )



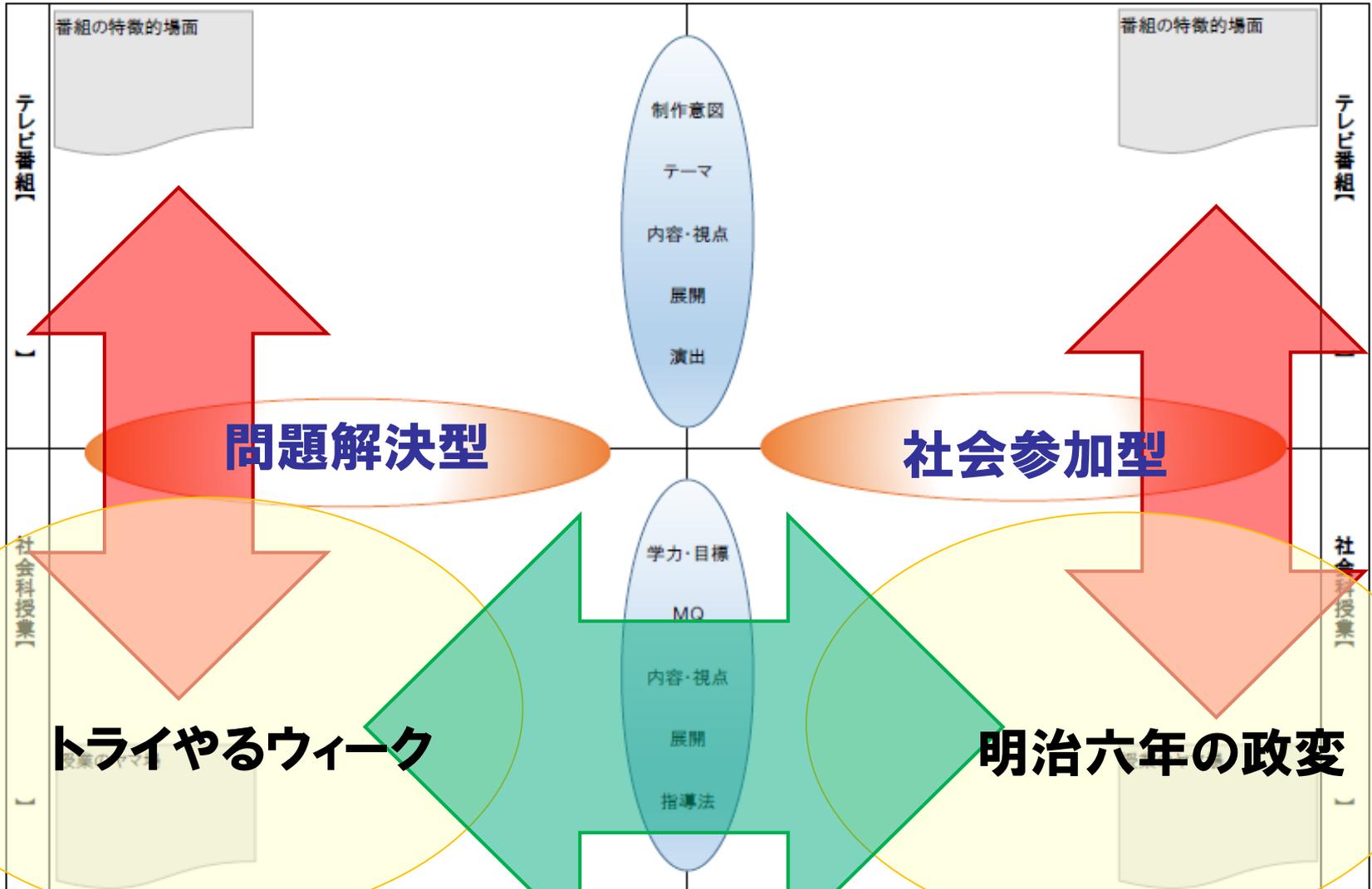
## 演習課題2

(1) 2つの授業は、テレビ番組で取られている  
(異なるタイプの)社会の見方の伝え方に基  
づいて構成されています

→ 上の点を意識してメモを取りながら視聴しよう

(2) 社会の見方の教え方を比較し、A3の紙に  
書き込んでいこう。文字だけでなく、イラスト  
や記号を使いながら対照表をつくろう

→ ペアワークをしよう(下段の横軸を完成)

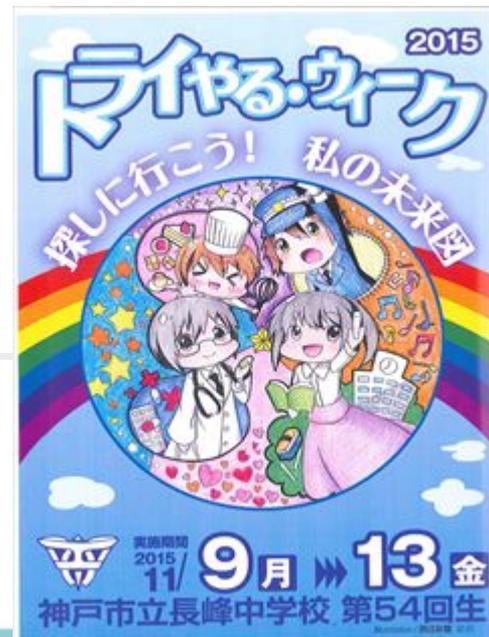


学生番号 ( ) 学部・コース ( ) 氏名 ( )

学生番号 ( ) 学部・コース ( ) 氏名 ( )

## 平成27年度 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

6月1日(月)～6月5日(金)  
町内の4中学校2年生155名が  
69事業所で体験活動を実施します！



※平成26年度の活動より



香住第一中学校  
(但馬漁業協同組合)



香住第二中学校  
(丸宮農園)



村岡中学校  
(村岡幼稚園)



「トライやる・ウィーク」の体験者は  
合計50万人を超えている。(平成18年度)

### 生徒の成長

- ・自尊感情の高揚
- ・社会的自立の基礎づくり
- ・社会活動への参画意識の形成

#### 生徒の成長への効果

自己認識の深まり・  
自己愛の充実

「自己有用感の醸成」  
「達成感や自信の体得」

人間関係の  
深まり

「人との関係をつくる力の育成」  
「日常のコミュニケーション能力の向上」  
「社会の一員としての自覚の育成」

生活環境への  
肯定的認識の高まり

「感謝や尊敬など地域の大人や親の  
生き方への意識の高まり」  
「礼儀や言葉遣いなど基本的な社会  
ルールを守ることの大切さの理解」

生活や学習の  
基礎づくり

「自分をコントロールする力の向上」  
「基本的なモラルなどの倫理観の育成」  
「学んだことを活用して課題を解決す  
る力の育成」

職業観・勤労観  
の深まり

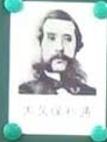
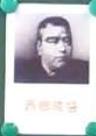
「学ぶこと、働くことの意義の理解」  
「進路意識の伸長」  
「公共の福祉に尽くそうとする態度の育成」

地域や自然の中で生徒たちの主体性を尊重した様々な活動や体験を通して、豊かな感性や創造性などを自ら高めたり、自分なりの生き方を見つけることができるよう、町内4中学校の2年生155名が「トライやる・ウィーク」に参加します。この期間中、町内延69事業所で、大勢の指導ボランティアの皆様にご協力、ご支援をいただきながら、仕事を体験し、楽しさ、厳しさ、そして喜びなど様々なことを学びます。

受け入れ事業所の皆様、指導ボランティアの皆様には、たいへんお世話になりますが、よろしく申し上げます。



**目標** 大久保と西郷の考えから、明治政府、目指す国家を考える

 <small>大久保利通</small>	<p><b>大久保の考え</b> 戦争は必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独立を目指す</li> <li>政府の基礎を固める</li> <li>富国強兵・殖産興業</li> <li>赤字</li> </ul>	<p><b>西郷の考え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内の不満を防ぐ</li> </ul>	 <small>西郷従道</small>
---	---	--	--

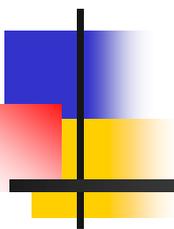
国力を高め 産業を興す ← **対立**



## 演習課題3

- (1) 縦にも横にも関係を整理して、「TV番組と授業づくりの接点を求めて」と題した作品を完成させよう
- (2) 締切は6月3日(金)17時。A404研究室前のBOX。カラフルな仕上げもOK
- (3) 優秀作品は、次回の講義で紹介します。一目でポイントが分かる表現を期待！！

# 社会科教育論



---

## 第14講 指導計画を作ってみよう1 —先輩のモデルに学ぶ—



# 演習課題1

(1) 3つの「モンゴルの襲来」の授業を比較しよう。同じ説明型の授業でも、どこか違う。どう違っただろうか。

→ シートにあなたの評価とコメントを記入しよう。

(2) あなたは、3つの授業の内、どれを実践したいですか。その理由は？民主主義社会の形成者を育てる社会科にとって説明型の魅力とは何だろう。 → Take a stand !

**【最終レポート】** 満点 30 点

- Bb9 の「社会科教育論」-「教材」にアクセスしなさい。
- 「説明」型または「社会参加」型の授業を構想しなさい。  
中学校社会科の地理的分野、歴史的分野、公民的分野で扱うテーマとします。  
教科書の見開き 2 ページを単位に、50 分の指導計画で構想すること。
- 提出するレポートは、以下の条件を満たすように留意すること。
  - パワーポイントで作成する。
  - 9 枚程度のスライドにまとめる。以下は構成の目安である。
    - 1 枚目 ... 表紙 (氏名, 学生番号, 取り上げたテーマ)
    - 2 枚目 ... 本時の目標
      - ・ 4 観点を意識して
      - ・ とくに子どもの見方・考え方をどのように成長させたいか
    - 3~6 枚目 ... 本時の指導過程
      - ・ 導入, 展開 1, 展開 2..., 終結の各段階に分けて
      - ・ 各段階の教師の指示・発問, 生徒の発表・活動を明示する
    - 7~8 枚目 ... 教材・資料, 板書, ワークシート例など
    - 9 枚目 ... 参考文献一覧
- レポートは, Bb9 の所定のページに, パワーポイントファイルを添付の上, 提出してください。
  - ファイル名は, 必ず「学生番号\_氏名\_学部・専攻コース」とします。  
例:「0123362\_草原和博\_教社」。  
なお, 「専攻コース」名は, 適宜, 略称をもちいてかまいません。
  - 締め切りは, 6 月 10 日 (金) 22 時とします。
  - レポートの作成に際して, 質問・疑問等がありましたら, 草原か, TA の山田さん, 河原さんに尋ねてください。
- 評価規準は, 以下の通り。提出前のチェックリストとして活用すること。

**【説明型】の場合**

- 規準 1 : 目標の明確さ (5 点)
  - ・ 「説明」の指導論にふさわしい社会科の目標が設定されている。
  - ・ 取り上げたテーマに即して, 目標を具体化できている。
  - ・ 目標の文末表現を, 「……を取り上げ, ……の原因 (本質・影響) を, ①……, ②……, ③……の視点から説明できる」と表現できている。
- 規準 2 : 教育内容の緻密さ, 教材の面白さ (10 点)
  - ・ 教科書のレベルを超えて研究し, 高度な教育内容を構想できている。
  - ・ 教育内容は, 子どもの知的好奇心を引き出し, 満たすものとなっている (小学校と同水準ではないこと)。
  - ・ 教育内容を, 中学生に理解できる言葉に置き換えて表現できている。

- ・ 「分かる」ことを支援する構造図や板書, 考えるための教材やプロセスが示されたワークシート等が準備されている
- 規準 3 : 指導過程の一貫性 (10 点)
    - ・ 各段階 (導入→展開→終結) の指導過程がリアルに再現できている。
    - ・ 主発問の「なぜ」「なに」を 1 時間かけてねばり強く探求させている
    - ・ 子どももっている認識を大きく揺さぶる場面 (ヤマ場) がある
    - ・ 指導に際しての留意点を, 具体的に指摘できている。
  - 規準 4 : 表現技能 (5 点)
    - 上の (1) ~ (3) の「良さ」をグラフィックな表現をもちいて分かりやすく, 説得的に表現できている。

**【社会参加型】の場合**

- 規準 1 : 目標の明確さ (5 点)
  - ・ 「社会参加」の指導論にふさわしい社会科の目標が設定されている。
  - ・ 取り上げたテーマに即して, 目標を具体化できている
  - ・ 目標を, 「……のあり方について, ①……, ②……を根拠に……と主張 (評価, 選択・意思決定, 行動) できる」などと表現できている。
- 規準 2 : 教育内容の緻密さ, 教材の面白さ (10 点)
  - ・ 教科書のレベルを超えて研究し, 高度な教育内容を構想できている。
  - ・ 教育内容は, 子どもの政治的・社会的な関心を引き出すものとなっている (現代社会の課題を扱っていること)。
  - ・ 教育内容を, 中学生に理解できる言葉に置き換えて表現できている。
  - ・ 問題の背景 (論点争点) を整理した見取り図や資料 (新聞・雑誌・web 等の記事), 板書計画やワークシート等が準備されている
- 規準 3 : 指導過程の一貫性 (10 点)
  - ・ 各段階 (導入→展開→終結) の指導過程がリアルに再現できている。
  - ・ 主発問の「どうすべきか」「なぜそうすべきか」を 1 時間かけてねばり強く追求させている
  - ・ 子どもに, 意見の多様性や対立関係を意識させる場 (ヤマ場) がある
  - ・ 指導に際しての留意点を, 具体的に指摘できている。
- 規準 4 : 表現技能 (5 点)
  - 上の (1) ~ (3) の「良さ」をグラフィックな表現をもちいて分かりやすく, 説得的に表現できている。

	モンゴル1	モンゴル2	モンゴル3	アメリカ1	アメリカ2	アメリカ3
規準 1						
規準 2						
規準 3						
規準 4						

① 説明型授業の一押しとその理由

② 社会参加型授業の一押しとその理由



## 演習課題2

(1) 3つの「アメリカの文化」の授業を比較しよう。同じ社会参加型の授業でも、どこか違う。どう違うだろうか。

→ 評価シートにあなたの評価を記入しよう。

(2) あなたは、3つの授業の内、どれを実践したいですか。その理由は？民主主義社会の形成者を育てる社会科にとって社会参加型の魅力とは何だろう。 → Take a stand !

**【最終レポート】** 満点 30 点

- Bb9 の「社会科教育論」-「教材」にアクセスしなさい。
- 「説明」型または「社会参加」型の授業を構想しなさい。  
中学校社会科の地理的分野、歴史的分野、公民的分野で扱うテーマとします。  
教科書の見開き 2 ページを単位に、50 分の指導計画で構想すること。
- 提出するレポートは、以下の条件を満たすように留意すること。
  - パワーポイントで作成する。
  - 9 枚程度のスライドにまとめる。以下は構成の目安である。
    - 1 枚目 ... 表紙 (氏名, 学生番号, 取り上げたテーマ)
    - 2 枚目 ... 本時の目標
      - ・ 4 観点を意識して
      - ・ とくに子どもの見方・考え方をどのように成長させたいか
    - 3~6 枚目 ... 本時の指導過程
      - ・ 導入, 展開 1, 展開 2..., 終結の各段階に分けて
      - ・ 各段階の教師の指示・発問, 生徒の発表・活動を明示する
    - 7~8 枚目 ... 教材・資料, 板書, ワークシート例など
    - 9 枚目 ... 参考文献一覧
- レポートは, Bb9 の所定のページに, パワーポイントファイルを添付の上, 提出してください。
  - ファイル名は, 必ず「学生番号\_氏名\_学部・専攻コース」とします。  
例:「0123362\_草原和博\_教社」。  
なお, 「専攻コース」名は, 適宜, 略称をもちいてかまいません。
  - 締め切りは, 6 月 10 日 (金) 22 時とします。
  - レポートの作成に際して, 質問・疑問等がありましたら, 草原か, TA の山田さん, 河原さんに尋ねてください。
- 評価規準は, 以下の通り。提出前のチェックリストとして活用すること。

**【説明型】の場合**

- 規準 1 : 目標の明確さ (5 点)
  - ・ 「説明」の指導論にふさわしい社会科の目標が設定されている。
  - ・ 取り上げたテーマに即して, 目標を具体化できている。
  - ・ 目標の文末表現を, 「……を取り上げ, ……の原因 (本質・影響) を, ①……, ②……, ③……の視点から説明できる」と表現できている。
- 規準 2 : 教育内容の緻密さ, 教材の面白さ (10 点)
  - ・ 教科書のレベルを超えて研究し, 高度な教育内容を構想できている。
  - ・ 教育内容は, 子どもの知的好奇心を引き出し, 満たすものとなっている (小学校と同水準ではないこと)。
  - ・ 教育内容を, 中学生に理解できる言葉に置き換えて表現できている。

・ 「分かる」ことを支援する構造図や板書, 考えるための教材やプロセスが示されたワークシート等が準備されている

- 規準 3 : 指導過程の一貫性 (10 点)
  - ・ 各段階 (導入→展開→終結) の指導過程がリアルに再現できている。
  - ・ 主発問の「なぜ」「なに」を 1 時間かけてねばり強く探求させている
  - ・ 子どももっている認識を大きく揺さぶる場面 (ヤマ場) がある
  - ・ 指導に際しての留意点を, 具体的に指摘できている。
- 規準 4 : 表現技能 (5 点)
 

上の (1) ~ (3) の「良さ」をグラフィックな表現をもちいて分かりやすく, 説得的に表現できている。

**【社会参加型】の場合**

- 規準 1 : 目標の明確さ (5 点)
  - ・ 「社会参加」の指導論にふさわしい社会科の目標が設定されている。
  - ・ 取り上げたテーマに即して, 目標を具体化できている
  - ・ 目標を, 「……のあり方について, ①……, ②……を根拠に……と主張 (評価, 選択・意思決定, 行動) できる」と表現できている。
- 規準 2 : 教育内容の緻密さ, 教材の面白さ (10 点)
  - ・ 教科書のレベルを超えて研究し, 高度な教育内容を構想できている。
  - ・ 教育内容は, 子どもの政治的・社会的な関心を引き出すものとなっている (現代社会の課題を扱っていること)。
  - ・ 教育内容を, 中学生に理解できる言葉に置き換えて表現できている。
  - ・ 問題の背景 (論点争点) を整理した見取り図や資料 (新聞・雑誌・web 等の記事), 板書計画やワークシート等が準備されている
- 規準 3 : 指導過程の一貫性 (10 点)
  - ・ 各段階 (導入→展開→終結) の指導過程がリアルに再現できている。
  - ・ 主発問の「どうすべきか」「なぜそうすべきか」を 1 時間かけてねばり強く追求させている
  - ・ 子どもに, 意見の多様性や対立関係を意識させる場 (ヤマ場) がある
  - ・ 指導に際しての留意点を, 具体的に指摘できている。
- 規準 4 : 表現技能 (5 点)
 

上の (1) ~ (3) の「良さ」をグラフィックな表現をもちいて分かりやすく, 説得的に表現できている。

	モンゴル1	モンゴル2	モンゴル3	アメリカ1	アメリカ2	アメリカ3
規準 1						
規準 2						
規準 3						
規準 4						

① 説明型授業の一押しとその理由

② 社会参加型授業の一押しとその理由